

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	晃陽看護栄養専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	管理栄養士学科	夜・通信	67 単位	12 単位	
	栄養士学科	夜・通信	47 単位	6 単位	
	調理師学科	夜・通信	900 時間	80 時間	
	グランドシェフ学科	夜・通信	1860 時間	160 時間	
医療専門課程	助産学科	夜・通信	960 時間	80 時間	
	看護学科	夜・通信	1290 時間	240 時間	
	救急救命学科	夜・通信	1905 時間	160 時間	
	歯科衛生士学科	夜・通信	2672 時間	240 時間	
(備考) 管理栄養士学科、歯科衛生士学科は完成年度に達していないが、(平成 31 年 4 月開設の為) 上記は完成年度到達見込の単位数となっている。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物により公表。各学科教務室に備え付け、閲覧可能。必要に応じて複写配布。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	晃陽看護栄養専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物により公表。事務室に備え付け、閲覧可能。必要に応じて複写配布。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立高等学校校長	令和 1 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	法人の会計、運営全般の確認
非常勤	茨城県議会議員	令和 1 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	法人の会計、運営全般の確認
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	晃陽看護栄養専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
授業計画書の公表方法	刊行物にて公表、各学科教務室に備え付け、閲覧可能 必要に応じて複写配布。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均化を算出する。(100点満点で点数化) 指標の数値は、～59点、60～69点、70～79点、80～89点、90～100点の5段階に区分し、下位1/4に該当する人数と指標の数値を算出する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	刊行物にて公開、各学科教務室に備え付け、閲覧可能 必要に応じて複写配布。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「食」と「医療」のスペシャリストを目指し、各学科において専門技術を身に付け、国家資格または国家試験受験資格を得るに値する者に卒業を認定する。 具体的な基準は以下の通り。 ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	刊行物にて公開、各学科教務室に備え付け、閲覧可能 必要に応じて複写配布。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	晃陽看護栄養専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務局に備え付け・閲覧 必要に応じて複写配布。
収支計算書又は損益計算書	事務局に備え付け・閲覧 必要に応じて複写配布。
財産目録	事務局に備え付け・閲覧 必要に応じて複写配布。
事業報告書	事務局に備え付け・閲覧 必要に応じて複写配布。
監事による監査報告（書）	事務局に備え付け・閲覧 必要に応じて複写配布。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		専門課程		管理栄養士学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
4 年	昼	138 単位 単位時間／単位	単位時間 102/単位	単位時間 13/単位	単位時間 16/単位	単位時間 6/単位	単位時間 1/単位		
			単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
40 人		11 人	0 人		16 人		19 人		35 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 10月～11月頃、教育課程（案）の内容について検討 12月頃 教務委員会において審議 1月 授業計画の決定 翌年4月 授業計画（シラバス）の公表
成績評価の基準・方法
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の3分の2以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。

卒業・進級の認定基準
(概要) ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。
学修支援等
(概要) クラス担任制を設け、補講を実施し学修支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 平成 31 年 4 月開設学科の為、卒業生のデータはありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		専門課程		栄養士学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	66 単位 単位時間／単位		単位時間 47/単位	単位時間 2/単位	単位時間 12/単位	単位時間 4/単位	単位時間 1/単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
100 人		44 人	0 人		7 人		9 人		16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） クラス担任制を設け、補講を実施し学修支援を行う。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	29 人 (100%)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) 給食委託会社、病院、福祉施設、保育所、認定こども園、ドラッグストア、スーパー			
(就職指導内容) 就職ガイダンスを行う。学校に数社企業を招き会社説明を開催。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 栄養士免許、栄養教諭二種免許状、製菓衛生師受験資格。			
(備考) （任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	2 人	4.0%
(中途退学の主な理由) 体調不良。成績不振。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年度初めに個別面談を行い、教員との信頼関係を構築し、相談を受けやすい環境を作る。 悩みを抱える学生や、学校生活に支障をきたしている学生については、話し合いの場を設ける他、保護者と連携を密にとる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	調理師学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	960 単位時間 単位時間／単位	540 単位 時間		420 単位 時間		
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		16 人	1 人	2 人	5 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 実習ノートの提出と添削、放課後の技術指導。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	1 人 (11.1%)	8 人 (88.9%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ホテル、料理店、集団調理			
(就職指導内容) 求人票の開示と面談。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 調理師免許（国家資格）、レストランサービス技能検定 3 級、サービス接客検定 3 級、専門調理師 学科試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士		
衛生		専門課程	ケラシエ学科		○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	1920 単位時間 単位時間／単位	870 単位 時間		1050 単位 時間				
			単位時間						
		単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		11 人	0 人		1 人		3 人		4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 実習ノートの提出と添削、放課後の技術指導。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ホテル、料理店			
(就職指導内容) 求人票の開示と面談。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 調理師免許（国家資格）、レストランサービス技能検定 3 級、サービス接客検定 3 級、専門調理師 学科試験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人、保護者との面談。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	助産学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	960 単位時間 単位時間／単位	465 単位 時間		495 単位 時間			
			単位時間		単位時間		単位時間	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
20 人		18 人	0 人	4 人	34 人		38 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 個別面談等により学修の進捗状況に応じ、指導する。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	0 人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 平成 31 年 4 月開設学科の為、卒業生のデータはありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3015 単位時間 単位時間／単位	1980 単位 時間	単位時間	1035 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		221 人	0 人	12 人	68 人	80 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 担任の学生指導業務として、成績状況の把握と定期的、または状況に応じ不定期に面談を行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70 人 (100%)	0 人 (%)	67 人 (95.7%)	3 人 (4.3%)
（主な就職、業界等） 看護師、病院			
（就職指導内容） 就職案内パンフ等の閲覧上の設置、2, 3 年生対象の就職説明会、進路相談担当教諭を置き、就職に関する悩み相談、面接、履歴書の記入などの就職指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師の受験資格、専門士（医療専門課程）の称号の授与。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
244 人	2 人	0.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振など		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席の多い学生については保護者への協力依頼をし、保護者、学生、教員との三者面談を実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	救急救命学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2205 単位時間 単位時間／単位	1080 単位 時間		1125 単位 時間			
			単位時間		単位時間		単位時間	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		58 人	0 人	4 人		6 人		10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 教員による補習授業、学生への教室解放。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	4 人 (12.5%)	21 人 (65.6%)	7 人 (21.9%)
（主な就職、業界等） 消防本部、医療施設関係（病院等）、福祉介護施設			
（就職指導内容） 公務員試験に伴う対応（面接、小論文対策、体力試験対策）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格（救急救命士）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	6 人	7.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談による学業継続指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2748 単位時間 単位時間／単位	1008 単位 時間	90 単位時 間	1650 単位 時間	単位時間	単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		1 人	0 人	3 人	26 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 10 月～11 月頃、教育課程（案）の内容について検討 12 月頃 教務委員会において審議 1 月 授業計画の決定 翌年 4 月 授業計画（シラバス）の公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・単位の認定は、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に対し、授業科目ごとに行う学科試験及び実習等の評価によって行う。 ・授業科目の評価は、科目担当責任者が行う。担当講師が複数の場合は、科目担当責任者又はその学科の主たる教諭がその任にあたる。 ・授業科目の評価は、A, B, C 及び D の評語をもって表し、C 以上を合格とする。それぞれの点数については、別に定める。 ・合格した授業科目について単位を与える。 ・病気その他やむを得ない事由により試験を受けることが出来なかった者は追試験を、不合格の者は再試験を受けることが出来る。 ・授業科目の評価の具体的な点数は下記の通り。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、教員会議を経て卒業認定を行う。 ・学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 ・欠席日数が各学科の定める日数を超える者については、卒業を認めない。	
学修支援等	
（概要） 履修方法など学業に関するサポートはもちろん、学生生活や人間関係についての悩みなど、学生一人一人の相談にも対応している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 平成 31 年 4 月開設学科の為、データはありません。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
管理栄養士学科	200,000 円	600,000 円	600,000 円	(実習費、施設費)
栄養士学科	200,000 円	480,000 円	557,000 円	(")
調理師学科	170,000 円	360,000 円	470,000 円	(実習費、施設費、維持費)
デパティシェフ学科	170,000 円	360,000 円	470,000 円	(")
助産学科	200,000 円	1,000,000 円	700,000 円	(実習費、施設費)
看護学科	200,000 円	480,000 円	420,000 円	(")
救急救命学科	200,000 円	480,000 円	520,000 円	(")
歯科衛生士学科	200,000 円	480,000 円	220,000 円	(")
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ※2020 年度から評価を確実に公表する		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校自ら自己評価を行うとともに、企業、業界団体が委員として参画する学校関係者評価を実施・公表し、評価結果に基づき学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
※学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ※2020 年度から評価を確実に公表する		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

ホームページ（<http://www.koyo-gakuen.ac.jp>）にて公開